

寒地及び高冷地

飼料用根菜類の王者

家畜ビート

一 冷害も台風もコワくない

寒冷地の安定多収作物

土地を選び、品種を選び肥培管理がよければ、どんな冷害の年でもまた台風があろうとも、一〇トの収穫を挙げることがはさして困難ではありません。現に一三ト、一五トの収穫をしている方も各地に出ています。根部が一〇トあればトップは少なくとも五トあります。この栄養価は混播牧草で一ト、デントコーンで二・五トに相当します。

これだけのものが、冷害も、台風の心配もせずにとれる家畜ビートは、乳牛一頭当五トは作付して冬に備えましょう。



冷害にも台風にも心配のない
寒冷地の安定作物家畜ビート
(乳牛1頭に5トは作付けしょう)

二 栽培労力も除草剤や、一部紙筒移植で半減でき、しかも多収が期待できます

三 家畜ビートを給与すればなぜ牛乳生産がアがるか

冬期間の生鮮多汁質で乳牛の嗜好がよく、食欲を増して、サイレージや乾草の採食率を増し、更に消化を助長する他に、可消化純蛋白は少ないが、非蛋白窒素化合物が多いことが原因です。乳牛のような反すう獣は、この粗蛋白質をも蛋白として利用できるからです。

四 ビートトップは高蛋白の良質飼料

よく出来た家畜ビートでは五ト以上のトップが得られますが、これは赤クロバー並みの良質飼料です。根をとった他に赤クロバーと同程度の飼料生産の期待できるのも家畜ビートの優れた点です。

五 ルタバガの白腐病や、根瘤病の多い地帯は、家畜ビートを



家畜ビートは葉だけでも赤クロバー程度の飼料生産ができます
(根部10トほどの家畜ビート収かく)

道東地方でルタバガの生産がどうもうまく行かないという方は、家畜ビートに切替えてみましょう。(品種はパーレスか、シュガーマンゴールド)

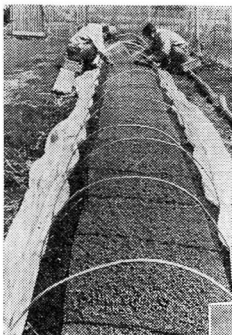
六 東北地方でも家畜ビートを

高冷地や、東北北部では普通栽培で立派な家畜ビートをとっています。平坦地では夏の暑さがちょっと心配。これを回避するために、玉蜀黍に間作する方法がとられています。デントコーンを四

月中旬頃に播種、約一カ月後に家畜ビートを間作して十分な収穫を挙げている例もあります。品種はMGMが適します。



家畜ビートの優良品種
シュガーマンゴールド MGM ハーフエロパーレス



春の農耕期前に間引きのできる紙筒育苗

寒さにも不良土壌にも耐える青刈用ひえ開拓地等によく作られる青刈用ひえは乾草としてもよいもので、品種は白ひえが最良です

◎ルタバガ ゲリントップのよさ

根部肥大が早く、白腐病に強く、更に道東地方に発生の激しくなって来た、根瘤病にも強いのがゲリントップのよさです。家畜ビートの欠株補植用に、乾燥地や、春の風の強い地帯では一〇畦か一五畦ごとにルタバガをまきますが、これにはスミズブラウンドが有利です。

◎夏のツナギに改良紫丸かぶを

春早くまきますと、丁度牧草の一番刈後には収穫利用できるように大きくなります。夏の高価な乳量をオトサズ搾るためにはツナギ用の紫丸かぶを一頭当二ト作付。